

## Elementary English Instructor (EEI)を活用した 教員研修モデルの研究開発

### 調査の概要

#### ◆課題認識

- 教科としての英語の指導法に戸惑いを覚えている教員が多い。
- 教員研修が実践的なものになっていない。

#### ◆調査研究の目的

- 長崎市独自の制度EEIを活用し、教員研修のモデルを開発する。
- 提案した研修プログラムを通じて、を図ること

#### ◆調査研究の方法

- EEIを活用する→教師用指導DVDによる指導モデルの可視化

#### ◆調査研究対象

- 長崎県東彼杵郡波佐見町・川棚町・東彼杵町
- 長崎県佐世保市黒島小中学校

#### ◆指導の現状

- 「年間計画」に基づいていない。
- ターゲット文が定着するような指導法になっていない。
- 学級担任ではなく、教頭が担当しているケースも有り。

### 取組のポイント・成果

#### ◆取組のポイント

##### ①ポイントA

- 長崎市教育委員会独自の制度であるEEIを活用した教員研修モデルの提案
- これまで伝達講習の色彩が濃かった教員研修から、受講者主体型の教員研修へ

##### ②ポイントB

- これまで参加しなかった中学校英語教員も教員研修に参加することで、小中学校の指導法の継続・連携を図る。
- 教材をベースにした小中学校連携の具体的可視化

##### ③ポイントC

- 授業全体型だった授業モデルを技能別の授業モデルの提案へ
- 技能別（授業展開別）の指導用DVDの製作

#### ◆成果

- これまで不安を覚えていた教科としての英語の授業が、はっきりイメージすることができた。
- 「中学校の前倒しではない」という意味が、教材を通して理解できた。
- これまで教員研修の受講率が50%程度だったものが、90%以上になった。中学校英語教員も参加した。

### 今後の課題

#### ◆効果的授業運営のイメージ化

- (1)「イングリッシュモデル」と「学習者モデル」の違いを踏まえた授業改善
- (2)(1)を踏まえたALTの効果的活用